

1. 略歴

- 1984年3月 東京大学文学部英語英文学専修課程卒業
- 1984年4月 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程入学
- 1987年3月 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程修了
- 1987年4月 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程進学
- 1989年3月 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程退学
- 1989年4月 実践女子大学文学部英文学科専任講師
- 1992年4月 東京大学教養学部助教授
- 1993年4月 東京大学大学院総合文化研究科専攻助教授
- 2004年4月 東京大学人文社会系研究科助教授 併任
- 2004年9月 東京大学人文社会系研究科助教授
- 2007年4月 東京大学人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

言語学、意味論、認知文法

b 研究課題

文法の意味的基盤

認知文法の観点からさまざまな文法現象の意味的な基盤を明らかにすることを目標として研究を進めてきた。これまでに分析の対象にしてきた主な現象は、日英語の使役構文、項構造の交替、文法関係などである。近年は認知言語学の分野でその遍在性、重要性が新たに注目されている換喩 (metonymy) の本質を解明し、それに基づいて従来別々に扱われてきた多くの文法現象を統一的に把握し直すことを目指している。

c 主要業績

(1) 学会発表

「文法と比喩」、日本フランス語学会 2010 年度シンポジウム「フランス語学と意味の他者」、早稲田大学早稲田キャンパス、2010

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

「文法に意味はあるのか？」 山口県教育委員会主催 夏期進学パワーアップセミナー、山口県セミナーパーク、2010年8月5日

「文法と意味、文法の意味」東京言語研究所春期特別講座、2011年4月16日

東京言語研究所理論言語学講座講師 2010.4～、学習院大学非常勤講師 2011.4～

(2) 学会

日本言語学会、評議員 2009.4～、大会運営委員 2008.4～2010.12、夏期講座委員 2010.4～、編集委員 2012.4～